

社会福祉法人光朔会オリンピア 議事録

ホーム長	管理者	リーダー

記入日： 2018年5月21日

会議名	グループホームオリンピア篠原第19回運営推進会議	記入者	上野 鋭一郎 印
日時	2018年5月16日(水)14:00～15:00	場所	オリンピア篠原2階
参加者	<p>【入居者】(ユニット1)岡本博子、有川富美子、道家禮子、矢野通子、宗保操、沼田妙子 嶋津英子、石橋早苗(ユニット2)中村ひさ子、原野悦、</p> <p>【ご家族】白戸智子(中村ひさ子)、原野和雄(原野悦)、岡本哲弥(岡本博子)、</p> <p>【地域包括】山根 真理子(篠原あんしんすこやかセンター)</p> <p>【地域代表】野中茂(自治会)、内藤 克代(篠原北地区民生児童委員)</p> <p>【社会福祉法人光朔会】山口元(理事長)、</p> <p>【オリンピア篠原】上野鋭一郎(管理者)、小倉久美絵(ユニット1リーダー)、 上尾のぶゑ(ユニット2リーダー)、田沢龍子(介護士)、平川奈央子(介護士)、</p>		
配付資料	<p>レジュメ、月刊オリンピア篠原37号・38号(2018年4月・2018年5月発行)、自己評価及び第三者 評価結果、「大切な人が認知症になったら」案内、「YMCA阪神大震災救援活動はらたち日記」案内、</p>		
議 事	<p>1.開会あいさつ(上野)</p> <p>新年度がスタートし、入居者の皆様は花見等春を満喫されている。新しいスタッフも迎え、少しずつ馴染んで きている。オリンピアはたくさんの事業所があり、幼児から高齢者そして障害者までいろいろな方々を対象とした 事業を展開している。</p> <p>2. 運営推進委員の自己紹介(各出席者)</p> <p>10名の入居者様に出席していただき、それぞれユニークに富んだ自己紹介をされた。</p> <p>3. 行事のご報告</p> <p>(小倉)オリンピア灘の入居者様と元篠原職員の中村介護士が遊びに来てくれた。中村介護士が好きだった 山崎様は大変喜ばれていた。3月のひな祭りにはオリンピア鶴甲の雛壇飾りを見に行った。また、スケーター 羽生結弦ファンである沼田様と東灘区にある弓弦羽神社に遊びに行った。3月下旬には桜も咲き始め、色々 なところの桜を見に行かれた。4月には篠原全員で護国神社にお弁当を持って花見に行った。桜の木の下で お弁当を広げ、皆様おいしくいただくことができた。1階の玄関では、夏に向けて朝顔の種やトマトの苗を植えて 毎日水やりをして育てている。</p> <p>(上尾)ひな祭りでは恒例になっている「歌の会」を開催し、春の歌を唄って楽しい時間を過ごすことができた。 また、ひな祭りケーキを食べて味覚でも楽しんだ。3階の皆様も、色々なところに桜の花を見に行かれ、春を 満喫された。4月にはイースターで、イースターエッグを皆様と作った。卵に色々な飾りを描いて祝った。また、 世界自閉症啓発デー「ライト・イット・アップ・ブルー」に参加し、皆様と青色の服を着て写真をアップしました。</p>		

議 事

3階食事会では「かごの屋」にしゃぶしゃぶを食べに行き、皆様普段以上においしそうに召し上がっておられ、楽しい話で花が咲いていた。今年目標は「個性を発揮する」になった。

(上野:管理者)4月16日に今年度1回目の消防設備点検と避難訓練を実施した。今回は消火器の操作方法をご家族も一緒に参加された。中村様の娘様白戸様は「こういう機会が今までなかったので、勉強になりました。」と仰っていた。皆様真剣に取り組んでおられた。法人では、3月に新入職員トレーニング合宿、4月に新入職員研修・入職式が行われ、今年も多くの職員が仲間に加わった。オリンピア篠原にはオリンピア岩屋、住吉からお掃除を定期的にしに来てくれている。掃除が終わったら、おやつを篠原の入居者の皆様と一緒に食べて、交流の場となっています。

4. 意見交換

山根氏「篠原あんしんすこやかセンターでは地域の皆様の介護の相談に応じるため「介護何でも相談会」や「介護リフレッシュ教室」等色々な場を設けている。気軽に来て欲しい。」

白戸氏「歌の会」は本当に毎回楽しい。皆さんが生き生きと歌っておられる様子を見ていると、嬉しくなる。これからも継続して行っていきたい。」

岡本氏「母は篠原で落ち着けず入院することになったが、本当に篠原の職員の皆様に献身的に見ていただき感謝している。入院中に骨折して転院したが、入居者の方にお見舞いにも来ていただき、母も感激していた。現在リハビリを頑張っているのので、できるだけ早く帰って来られるよう見守って欲しい。」

5. 閉会ごあいさつ(山口 元:光朔会オリンピア)

○オリンピアの「理念」は生活の主人公は入居者様である。入居者様の尊厳ある暮らしを見守っていく。スタッフは生活のお手伝いをさせていただく。これらはボランティアの精神と同じで、自分が阪神大震災の時に救援活動本部長をしていた時の行政の対応、一般市民の救援物資の郵送物等で色々と考えさせられることが多かった。それらを次回「生と死を考える会」の講演会で披露しようと思う。是非聴きに来て欲しい。他施設職員がユニホームを着ていたり、ジャージで業務していることもそのひとつかと思う。オリンピアは普段着で業務している。

○第20回グループホームオリンピア篠原運営推進会議 7月18日(水)14:00-15:00